



3年生の国語で習う『古今和歌集』には、『人の心を「種」として芽生え育ったさまざまな「こと」の「葉」が「言葉』』という表現があります。そんな「言葉」を大切に使うって欲しいと思います。大切にとは、その状況にぴったりと当てはまる「言葉」を選び抜いて使うということです。たとえば「好き」を表す「言葉」をいくつ知っていますか？「好ましく思う」「愛しい」「目がない」「熱を上げる」…まだまだあります。選ばれた「言葉」は人を励まし、元気にすることができます。お互いが優しくつながれる「言葉」を選びたいですね。知っている「言葉」でも違った言い方がないか類語辞典を引いてみましょう。8類の棚には、「言葉」に関するさまざまなタイプの本がありますよ。

図書委員会の活動

図書委員会のスローガン！

本を知る、自分を知る、世界を知る。

さまざまな本に出会い、読書の楽しさを味わい、今まで知らなかった新しい世界を知って欲しい、そんな思いで本を紹介します。

学年のフロアボードに本を紹介！

紹介された本にひとこと感想を応募してくれた生徒には、もれなく「しおりんジャー」しおりをプレゼント

11月24日から
12月22日まで



新着図書からおすすめ本

散文詩という形式で描かれたとても読みやすく心に響く物語

『詩人になりたいわたしX』 エリザベス・アセヴェド作 <933・あ>



『わたしは夢をみつづける』 ジャクリーン・ウッドソン作 <931・ウ>



二冊の本には共通点があります。それは散文詩の形式で描かれているのです。最初から読み進むと、ひとりの少女の物語だと気づきます。『詩人になりたい…』は、シオラマという少女が自身の体の急激な成長への戸惑い、家族への反発心や恋心を日記のようにつづっています。『わたしは夢を…』は、アメリカの児童文学作家ジャクリーンの半生の物語です。黒人差別や厳格な母親が登場します。一番読んで欲しい点は、彼女たちがどうやって自分のすすむべき道を見つけたのか。進路に悩む生徒におすすめです。

言葉を知るために

『ことわざの論理』
外山滋比古著



813・と

『日本語をつかまえろ！』
飯間浩明著



810・い

『校閲記者の目』
毎日新聞校閲グループ



810・ま

『大人になって困らない
語彙力の鍛えかた』
今野真二著



814・こ

*実際の書影ではありません

開館予定

11月12月のカレンダーから ☺11月1日は萩原朔太郎、4日は泉鏡花の誕生日

☺12月7日は与謝野晶子の誕生日

萩原朔太郎や泉鏡花を知るための本 ⇒ 『文豪たちの友情』



11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 文化の日	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17 期末考査	18 期末考査	19 期末考査	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23 勤労感謝	24	25	26	27	28	20	21	22	23 大掃除	24 終業式	25	26
29	30	色のついている日は閉館です！					27	28	29	30	31		11月11日 始業式